

市長記者会見

64歳以下の市民の皆さまへのワクチン接種の方針

報道機関の皆さまには、午前中、定例会の開会がありました。引き続きご参集を賜り、大変恐縮に存じます。

今日は、高齢者のワクチン接種の現況について、市民の皆さんの関心の高い64歳以下の皆さまのワクチン接種について、今治市の考え方を明らかにさせていただきたいと思っております。

《(1) 高齢者へのワクチン予約・接種の状況について》

まず、高齢者の方へのワクチン予約・接種の状況についてです。希望される方のほとんどが既に予約を完了されており、昨日(6月9日)時点で、全体の約25%、14,000人余りの方が既に1回目の接種を終了しております。いよいよ来週からは、個別接種に加えて、陸地部で、島しょ部で、それぞれで集団接種も始まり、予定どおり、7月末には高齢者の方々への2回目の接種が完了いたします。

《(2) 64歳以下の市民の皆さまへのワクチン接種について》

続きまして、64歳以下の市民の皆さまへのワクチン接種についてです。

まず初めに、接種のスケジュールについては、午前中の6月定例市議会の冒頭あいさつでも申し上げたとおり、接種を希望される64歳以下の市民の皆さまについては、7月中旬にすべての対象者に対し、接種券を送付させていただきます。

1回目の接種は、高齢者の接種が完了する予定が7月末になっておりますので、8月1日からスタートし10月2日まで、そして2回目の接種を10月下旬までにすべて完了することを目指して、現在、今治

市医師会等関係機関と最終調整を進めている段階です。市役所職員も昼夜を問わず一生懸命頑張っていることを市民の皆さんに明らかにしておきます。

次に、予約のスケジュールと受付方法についてです。今回のワクチン接種の対象となる64歳以下、12歳以上の市民の皆さまが約8万人おられます。このうち基礎疾患のある方が推定で約1万人ほどおられるため、まずは基礎疾患のある方、加えて、保育現場の先生、保育士や保育所の職員などを優先的に受付をさせていただきたいと思います。その理由は、保育現場ではマスク、エプロンのみの軽装で、身体的接触度合いが非常に高い職場であり、感染のリスクが非常に高いこと、何よりもクラスターが発生してしまえばこれまでの経験から保育所を休まなければならない、閉じなければならない必要が発生します。こういったことになると保護者の方に大変ご迷惑をおかけする、長期間お仕事を休まなければならないといったさまざまな問題が発生することが予想されることから、先ほど申し上げたとおり、今治市独自として、保育所・幼稚園の保育士や保育所職員などを対象に先行予約を受け付けさせていただきたいと思います。

その後、60代の方、50代の方、40代の方といった形で、年代別に段階的に予約を受け付けさせていただきたいと考えております。前回、65歳以上の高齢者の方の受付予約の際にお問い合わせが殺到しました。大きな混乱を招いたということもあり、さまざま検証を繰り返した結果、こういった形で一般接種については運ばせてもらいたいと思っておりますので、ぜひ、ご理解をいただきたいと思います。

なお、8月1日から医療機関での個別接種ができない方を対象に、土曜日・日曜日に「集団接種」を実施することとし、現在、接種会場の調整に入っております。

一日でも早くワクチン接種を受けたいという気持ちは、私もよくわかります。どなたもお持ちだと思えます。

今治市としましては、希望されるすべての市民の皆さまが可能な限り、早期に接種を完了することを目指して鋭意、準備を進めておりますので、何卒ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。なかなか詳細のスキームが決まっていないこの段階で、10月末までに一般の接種を終えるという宣言をすることは非常にハードルが高いと思いますが、何よりも市民の皆さまに今治市の方針をしっかりとお示しをさせていただきたい。

本日は、今後の市民の皆さまへのワクチン接種についての方針についてお示しさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と、社会経済活動の両立を図っていくためには、一日も早く“産業都市 今治”、そして“商人の町 今治”の賑わいを取り戻せるよう、スピード感を持ってワクチン接種に全庁一丸となって頑張っていきたいと思っていますので、どうか市民の皆さま、もうしばらくお待ちいただきますように心よりお願いを申し上げ、皆さまに対してのお知らせとさせていただきます。